

三、『漱石作品論集成』書誌(二)

「大阪産業大学論集」人文科学編 第82号 1～25頁 大阪産業大学学会 '94(平成6)年6月10日  
↓『国文学年次別論文集近代2平成6(1994)年』収録『漱石作品論集成』書誌(二) 100～112頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '96(平成8)年9月

四、『漱石作品論集成』書誌(三)

「大阪産業大学論集」人文科学編 第83号 49～73頁 大阪産業大学学会 '94(平成6)年9月30日  
↓『国文学年次別論文集近代2平成6(1994)年』収録『漱石作品論集成』書誌(三) 113～125頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '96(平成8)年9月

五、『漱石作品論集成』書誌(四)

「大阪産業大学論集」人文科学編 第106号 11～23頁 大阪産業大学学会 '02(平成14)年2月28日  
↓『国文学年次別論文集近代2平成14(2002)年』収録『漱石作品論集成』書誌(四) 97～103頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '04(平成16)年12月

六、『漱石作品論集成』書誌(五)

「大阪産業大学論集」人文科学編 第107号 1～12頁 大阪産業大学学会 '02(平成14)年6月20日  
↓『国文学年次別論文集近代2平成14(2002)年』収録『漱石作品論集成』書誌(五) 105～111頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '04(平成16)年12月

七、『漱石作品論集成』書誌(六)

「大阪産業大学論集」人文科学編 第118号 1～19頁 大阪産業大学学会 '06(平成18)年2月28日

八、『漱石作品論集成』書誌(七)

「大阪産業大学論集」人文科学編 第120号 1～20頁 大阪産業大学学会 '06(平成18)年10月30日

平成二〇年二月二十九日 原稿受理  
大阪産業大学 教養部

冊 日本図書センター '01 (平成13) 年12月25日

徳田秋江(近松秋江) 文芸院の審査 「東京朝日新聞」 第八九七九号(三) 面6〜8段 文芸欄 東京朝日新聞社

'11 (明治44) 年8月6日 「日曜」

↓ 『近代文学研究資料叢書(3) 朝日文芸欄へ夏目漱石編集』収録 朝日文芸欄 明治四十四年(十月十二日まで)

八月六日 「日」 第八九七九号 文芸院の審査 414〜414頁

発行人日本近代文学館小田切進 編集人瀬沼茂樹 発行所

日本近代文学館 '73 (昭和48) 年9月10日

↓ 『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 文芸院の審査 97〜98頁上段 堀部功夫・村田好哉編 桜楓

社 '91 (平成3) 年12月10日

↓ 『近松秋江全集第9巻』収録 一九二一年(明治四十四年) 文芸院の審査 518〜519頁 八木書店 '92 (平成4) 年

6月23日

↓ 『朝日新聞へ復刻版へ明治編』明治44年8月自八九七四号至九〇〇四号』収録 文芸院の審査 第八九七九号

(三) 面 文芸欄 '11 (明治44) 年8月6日 「日曜」 43〜

43頁 第Ⅲ期第10回配本(20) (25) 全六冊 日本図書センター '02 (平成14) 年4月25日

高村光太郎 文展の批評▽西洋画所見(八) 「読売新聞」 第一二七六一号(五) 面 読売新聞社 '12 (大正1) 年11月

13日 「水曜」

↓ 『高村光太郎全集第六巻』収録 西洋画所見八頁 筑摩書房 '57 (昭和32) 年7月10日

↓ 『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 文展の批評／西洋画所見(八) 100〜101頁上段 堀部功夫・

村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓ 『高村光太郎全集第六巻評論三 増補版』収録 西洋画所見八 100〜103頁 筑摩書房 '95 (平成7) 年3月20日

なお既発表の同集成関係の書誌は以下の通りである。

### 一、『漱石作品論集成』総目次

「大阪産業大学論集」 人文科学編 第78号 41〜58頁 大阪産業大学学会 '93 (平成5) 年3月10日

↓ 『国文学年次別論文集近代2平成5(1993)年』収録 『漱石作品論集成』総目次 36〜45頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '95 (平成7) 年6月

### 二、『漱石作品論集成』書誌(一)

「大阪産業大学論集」 人文科学編 第81号 27〜50頁 大阪産業大学学会 '94 (平成6) 年3月10日

↓ 『国文学年次別論文集近代2平成6(1994)年』収録 『漱石作品論集成』書誌(一) 88〜100頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '96 (平成8) 年9月

行人日本近代文学館小田切進 編集人瀬沼茂樹 発行所日本近代文学館 '73 (昭和48) 年9月10日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 読ませんとする努力(上) 91頁下段、92頁上段 堀部功夫・

村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『朝日新聞へ復刻版』明治編<sup>23</sup>明治43年12月自八七三一号至八七六一号』収録 読ませんとする努力(上) 第八七四九号(三)面 文芸欄 '10 (明治43) 年12月19日「月曜」147、147頁 なお読ませんとする努力(下)は 155、155頁 に掲載 第三期第8回配本(208、213) 全六冊 日本図書センター '01 (平成13) 年8月25日

### 臨風生(笹川臨風)

京の夢大阪の夢 「東京朝日新聞」 第八七六八号 (三)面7、8段 文芸欄 東京朝日新聞社

'11 (明治44) 年1月7日「土曜」

↓『近代文学研究資料叢書(3) 朝日文芸欄へ夏目漱石編集』収録 朝日文芸欄 明治四十四年(十月十二日まで) 一月七日「土」 第八七六八号 京の夢大阪の夢 263、264

頁 発行人日本近代文学館小田切進 編集人瀬沼茂樹 発行所日本近代文学館 '73 (昭和48) 年9月10日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 京の夢大阪の夢 92頁下段、93頁 堀部功夫・村田好哉編

桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『朝日新聞へ復刻版』明治編<sup>24</sup>明治44年1月自八七六二

号至八七九二号』収録 京の夢大阪の夢 第八七六八号

(三)面 文芸欄 '11 (明治44) 年1月7日「土曜」 39、39頁 第三期第9回配本(214、219) 全六冊 日本図書センター '01 (平成13) 年12月25日

### 徳田秋江(近松秋江)

文学者は何故に尊敬せられざるか 「東京朝日新聞」 第八八八二号(三)面7、8段 文芸欄

東京朝日新聞社 '11 (明治44) 年5月1日「月曜」

↓『近代文学研究資料叢書(3) 朝日文芸欄へ夏目漱石編集』収録 朝日文芸欄 明治四十四年(十月十二日まで) 五月一日「月」 第八八八二号 文学者は何故に尊敬せられざるか 341、341頁 発行人日本近代文学館小田切進 編集人瀬沼茂樹 発行所日本近代文学館 '73 (昭和48) 年9月10日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 文学者は何故に尊敬せられざるか 95、96頁上段 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『近松秋江全集第9巻』収録 一九一一年(明治四十四年) 文学者は何故に尊敬せられざるか 501、502頁 八木書店 '92 (平成4) 年6月23日

↓『朝日新聞へ復刻版』明治編<sup>25</sup>明治44年1月自八八八二号至八九一二号』収録 文学者は何故に尊敬せられざるか 第八八八二号(三)面 文芸欄 '11 (明治44) 年5月1日「月曜」 3、3頁 第三期第9回配本(214、219) 全六

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 五月雨 87頁下段〜88頁 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『朝日新聞へ復刻版▽明治編<sup>20</sup>明治43年7月自八五七八号至八六〇八号』収録 五月雨 第八五九五号 (三) 面 文芸欄 '10 (明治43) 年7月18日「月曜」 139〜139頁 第Ⅲ期第8回配本(208〜213) 全六冊 日本図書センター '01 (平成13) 年8月25日

**秋骨(戸川秋骨)** 誤られたる現代の文学?(上) 「東京朝日新聞」 第八六六一号 (三) 面 文芸欄 東京朝日新聞社 '10 (明治43) 年9月22日「木曜」

誤られたる現代の文学?(下) 「東京朝日新聞」 第八六六二号 (三) 面 文芸欄 東京朝日新聞社 '10 (明治43) 年9月23日「金曜」

↓『近代文学研究資料叢書(3) 朝日文芸欄へ夏目漱石編集▽』収録 朝日文芸欄 明治四十三年 九月二十二日「木」 第八六六一号 誤られたる現代の文学?(上) 197〜198頁 九月二十三日「金」 第八六六二号 誤られたる現代の文学?(下) 198〜198頁 発行人日本近代文学館小田切進 編集人瀬沼茂樹 発行所日本近代文学館 '73 (昭和48) 年9月10日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 誤られたる現代の文学? 89頁下段〜91頁上段 「誤られたる現代の文学?(上) 89頁下段〜90頁下段8行/誤られたる現代の文学?(下) 90頁下段10行〜91頁上段」堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『朝日新聞へ復刻版▽明治編<sup>20</sup>明治43年9月自八六四〇号至八六六九号』収録 誤られたる現代の文学?(上) 第八六六一号 (三) 面 文芸欄 '10 (明治43) 年9月22日「木曜」 171〜171頁 誤られたる現代の文学?(下) 第八六六二号 (三) 面 文芸欄 '10 (明治43) 年9月23日「金曜」第Ⅲ期第8回配本(208〜213) 全六冊 日本図書センター '01 (平成13) 年8月25日

**楚人冠(杉村楚人冠)** 読まんとする努力(上) 「東京朝日新聞」 第八七四九号 (三) 面7、8段 文芸欄 東京朝日新聞社 '10 (明治43) 年12月19日「月曜」 なお読まんとする努力(下) は「東京朝日新聞」 第八七五〇号 (三) 面 文芸欄 '10 (明治43) 年12月20日「火曜」に掲載 ↓『楚人冠全集第十六卷十三年集 温故抄』収録 温故抄新聞層 読まんとする努力上 317〜319頁 なお読まんとする努力下は 319〜321頁 に掲載 著者杉村廣太郎 日本評論社 '39 (昭和14) 年8月5日

↓『近代文学研究資料叢書(3) 朝日文芸欄へ夏目漱石編集▽』収録 朝日文芸欄 明治四十三年 十二月十九日「月」 第八七四九号 読まんとする努力(上) 248〜249頁 なお読まんとする努力(下) は 249〜250頁 に掲載 発

つま汁(上) 76頁下段〜77頁上段 堀部功夫・村田好哉  
編 桜楓社 '91(平成3)年12月10日

↓『朝日新聞』復刻版▽明治編<sup>205</sup>明治43年4月自八四八七  
号至八五一六号』収録 さつま汁(上) 第八五〇〇号

(三)面 文芸欄 '10(明治43)年4月14日「木曜」 103  
103頁 なおさつま汁(下)は 119〜119頁 に掲載 第三期  
第7回配本(202)〜(207)全六冊 日本図書センター '01(平  
成13)年4月25日

小池秋草 文藝家と寿命(上) 「東京朝日新聞」 第八五三

八号(三)面 文芸欄 東京朝日新聞社 '10(明治43)年  
5月22日「日曜」

文藝家と寿命(下) 「東京朝日新聞」 第八五三九号 (三)  
面 文芸欄 東京朝日新聞社 '10(明治43)年5月23日「月  
曜」

↓『近代文学研究資料叢書(3)朝日文芸欄』夏目漱石編  
集▽収録 朝日文芸欄 明治四十三年 五月二十二日  
「日」第八五三八号 文芸家と寿命(上) 122〜122頁 五月  
二十三日「月」 第八五三九号 文芸家と寿命(下) 123

123頁 発行人日本近代文学館小田切進 編集人瀬沼茂樹  
発行所日本近代文学館 '73(昭和48)年9月10日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文獻』収録 文  
芸家と寿命 77頁下段〜79頁上段 「文芸家と寿命(上) 文  
77頁下段〜78頁上段13行 / 文芸家と寿命(下) 78頁上段

15行〜79頁上段」 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91(平  
成3)年12月10日

↓『朝日新聞』復刻版▽明治編<sup>206</sup>明治43年5月自八五一七  
号至八五四七号』収録 文藝家と寿命(上) 第八五三八  
号(三)面 文芸欄 '10(明治43)年5月22日「日曜」  
171〜171頁 文藝家と寿命(下) 第八五三九号(三)面  
文芸欄 '10(明治43)年5月23日「月曜」 179〜179頁 第  
三期第7回配本(202)〜(207)全六冊 日本図書センター  
'01(平成13)年4月25日

武者小路実篤 五月雨 「東京朝日新聞」 第八五九五号

(三)面 文芸欄 東京朝日新聞社 '10(明治43)年7月  
18日「月曜」

↓『夏目漱石全集別巻漱石文学案内』収録 IV 五月雨  
430〜431頁 江藤淳・吉田精一編 角川書店 '75(昭和50)  
年2月5日

↓『武者小路実篤全集第一巻』収録 新編 生長・一九一  
〇年(明治四三年) 五月雨 336〜337頁 小学館 '87(昭  
和62)年12月10日

↓『近代文学研究資料叢書(3)朝日文芸欄』夏目漱石編  
集▽収録 朝日文芸欄 明治四十三年 七月十八日「月」  
第八五九五号 五月雨 158〜159頁 発行人日本近代文学館  
小田切進 編集人瀬沼茂樹 発行所日本近代文学館 '73  
(昭和48)年9月10日

聞社 発行所柏書房 '97 (平成9) 年12月20日

無署名 楽屋すゞめ「東京朝日新聞」第七二一四号 (六)

面 なお第二項は(六)面 5段40行〜54行までが該当

東京朝日新聞社 '06 (明治39) 年9月13日「木曜」

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 楽屋すゞめ「第二項」 31頁上段 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『朝日新聞へ復刻版▽明治編』明治39年9月自七二〇二

号至七二三〇号』収録 楽屋すゞめ 第七二二四号 (六) 面 '06 (明治39) 年9月13日「木曜」 102〜102頁 第Ⅲ期

第二回配本 (167) (169) 全八冊 日本図書センター '99 (平成11) 年7月25日

生田長江 (生田弘治) 論壇 小説に対する首都の勢力「新

潮」第5巻5号 17〜20頁 新潮社 '06 (明治39) 年11月15日

↓『文学入門』収録 附録 文芸雑話 小説に対する首都の勢力 55〜68頁 新潮社 '07 (明治40) 年11月20日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 小説に対する首都の勢力 33〜36頁上段 堀部功夫・村田好

哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『文藝時評大系明治篇第九卷明治三十九年』収録 明治三十九年・十一月 論壇 小説に対する首都の勢力 305

〜308頁 中島国彦編 ゆまに書房 '05 (平成17) 年11月25

日

三井甲之 文藝雑感「日本及日本人」第518号 83〜84頁上

段 なお第一・二項は 83頁下段1行〜23行までが該当

政教社 '09 (明治42) 年10月1日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 文芸雑感「第五一八号分・第二・三項」 75頁下段〜76頁上

段 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『文藝時評大系明治篇第十二卷明治四十二年』収録 明治四十二年・十一月 文藝雑感 第二・三項 358〜359頁

中島国彦編 ゆまに書房 '05 (平成17) 年11月25日

愚翁 (戸川秋骨) 朝日文藝欄 明治四十三年 さつま汁 (上)「東京朝日新聞」第八五〇〇号 (三) 面 文芸欄

東京朝日新聞社 '10 (明治43) 年4月14日「木曜」なお さつま汁 (下) は「東京朝日新聞」第八五〇二号 (三) 面 文芸欄 '10 (明治43) 年4月16日「土曜」に掲載

↓『近代文学研究資料叢書(3) 朝日文芸欄へ夏目漱石編集』収録 朝日文芸欄 明治四十三年 四月十四日「木」

第八五〇〇号 さつま汁 (上) 98〜98頁 '10 (明治43) 年4月14日「木曜」 なおさつま汁 (下) は 99〜99頁

に掲載 発行人日本近代文学館小田切進 編集人瀬沼茂樹 発行所日本近代文学館 '73 (昭和48) 年9月10日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 さ

六社 '06 (明治39) 年7月18日「水曜」

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 俳

汝南「101」22頁、24頁上段「俳汝南101」22頁上段、

22頁下段22行／俳汝南102 22頁下段24行、23頁下段13行／

俳汝南103 23頁下段15行、24頁上段」堀部功夫・村田好

哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『復刻版二六新報第32巻原紙名』『東京二六新聞』明

治39年7月、9月 第776号、第867号』収録 俳汝南 101

第七七九号 (一) 面 '06 (明治39) 年7月4日「水曜」

13、13頁

俳汝南 102 第七八八号 (一) 面 '06 (明治39) 年7月

13日「金曜」 49、49頁

俳汝南 103 第七九三号 (一) 面 '06 (明治39) 年7月18

日「水曜」 69、69頁 不二出版 '94 (平成6) 年12月10日

無署名 新著一班 文学書類 △漾虚集「都新聞」第六六

〇一号 (一) 面 都新聞社 '06 (明治39) 年7月6日「金

曜」

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 新

著一班／文学書類「漾虚集」項」 24頁下段 堀部功夫・

村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『都新聞復刻版明治三十九年七月、八月(第六五九六、

第六六五七号)』収録 新著一班 文学書類 △漾虚集

第六六〇一号 (一) 面 '06 (明治39) 年7月6日「金曜」

33、33頁 監修中日新聞社 発行所柏書房 '97 (平成9)

年12月20日

鈴羊子 新刊評 39頁上段、46頁上段 漾虚集 39頁上段、

43頁上段「藝苑」第8巻 佐久良書房 '06 (明治39) 年

8月1日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 新

刊評「漾虚集」項まで」 26頁下段、28頁 堀部功夫・

村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『文藝時評大系明治篇第九巻明治三十九年』収録 明治

三十九年・八月 新刊評 210、217頁「漾虚集 夏目漱石

著 210頁下段、213頁」 中島国彦編 ゆまに書房 '05 (平

成17) 年11月25日

無署名 ・電車値上反対行列(広告屋と間違へらる一角袖

巡査の参列)「都新聞」第六六三七号 (五) 面 都新

聞社 '06 (明治39) 年8月11日「土曜」

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 電

車値上反対行列(広告屋と間違へらる一角袖巡査の参列)

29、29頁 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3)

年12月10日

↓『都新聞復刻版明治三十九年七月、八月(第六五九六号

第六六五七号)』収録 ・電車値上反対行列(広告屋と

間違へらる一角袖巡査の参列) 第六六三七号 (五) 面

'06 (明治39) 年8月11日「土曜」 243、243頁 監修中日新

成6) 年12月10日

無署名 出版時評 127～130頁 ◎吾輩は猫である 129頁下段

『白百合』 第3巻2号 東京純文社 '05(明治38) 年12月1日

↓『吾輩ハ猫デアル 下編』収録 批評一班 「夏目氏の猫」  
白百合評 16～17頁 夏目金之助 大倉書店・服部書店発行所 '07(明治40) 年5月19日

↓『名著複刻全集近代文学館 吾輩ハ猫デアル下編』収録  
批評一班 「夏目氏の猫」白百合評 16～17頁 大倉書店  
服部書店版 編集名著複刻全集近代文学館編集委員会代表者稲垣達郎 刊行日本近代文学館代表者伊藤整 発売元  
図書月販 '68(昭和43) 年9月10日

↓『新選名著複刻全集近代文学館 吾輩ハ猫デアル下編』  
収録 批評一班 「夏目氏の猫」白百合評 16～17頁 編集名著複刻全集編集委員会代表者稲垣達郎 刊行日本近代文学館代表者小田切進 販売図書月販 '70(昭和45) 年4月10日

↓『名著複刻漱石文学館 吾輩ハ猫デアル下編』収録 批評一班「夏目氏の猫」白百合評 16～17頁 編集名著複刻全集編集委員会代表者稲垣達郎 刊行日本近代文学館代表者小田切進 販売ほるぶ '75(昭和50) 年11月15日

↓『復刻初版本夏目漱石文学選集 吾輩ハ猫デアル下編』  
収録 批評一班 「夏目氏の猫」白百合評 16～17頁 日

本リーダーズダイジェスト社 '79(昭和54) 年7月15日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 出版時評「吾輩は猫である」項」 20頁下段 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91(平成3) 年12月10日

↓『復刻版『白百合』近代文芸雑誌複製叢書ハ第21次』  
収録 「白百合」 第3巻2号 出版時評「◎吾輩は猫である」  
29頁下段」 127～130頁 解説宗像和重 臨川書店

'96(平成8) 年10月15日

鈴羊子 新年の小説 64～68頁 趣味の遺伝 67頁下段～68

頁中段 「藝苑」 第2巻 佐久良書房 '06(明治39) 年2月1日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 新年の小説「趣味の遺伝」項」 21～21頁 堀部功夫・村田好哉編 桜楓社 '91(平成3) 年12月10日

↓『文藝時評大系明治篇第九卷明治三十九年』収録 明治三十九年・二月 新年の小説 45～49頁「趣味の遺伝夏目漱石氏作 49～49頁」 中島国彦編 ゆまに書房 '05(平成17) 年11月25日

楽天 俳汝南 101 「東京二六新聞」 第七七九号 (一) 面

二六社 '06(明治39) 年7月4日「水曜」

俳汝南 102 「東京二六新聞」 第七八八号 (一) 面 二

六社 '06(明治39) 年7月13日「金曜」

俳汝南 103 「東京二六新聞」 第七九三号 (一) 面 二



37) 年3月20日

↓『夏目漱石』収録 第六章第二の三部作二『行人』 228  
頁 243頁 U P 選書51 東京大学出版会 '70 (昭和45) 年7  
月25日

↓『漱石作品論集成第九卷行人』収録 『行人』 35頁 42  
頁 浅田隆・戸田民子編 桜楓社 '91 (平成3) 年2月10  
日

↓『近代日本の思想家5夏目漱石 新装版』収録 第六章  
第二の三部作二『行人』 228頁 243頁 東京大学出版会 '07  
(平成19) 年9月21日

### 別巻『漱石関係記事及び文献』堀部功夫・村田好哉編 第一

部同時代評61編 第二部大正六年から昭和十年まで10編

合計71編収録 315頁 第十三回配本 '91 (平成3) 年12月  
10日

### 第一部 同時代評 堀部功夫編

無署名 二六鑑賞▲我輩は猫である (夏目漱石著) 「東京二

六新聞」第五三三三号 (一面) 二六社 '05 (明治38) 年10  
月31日「火曜」

↓『吾輩ハ猫デアル下編』収録 批評一班 「吾輩は猫で  
ある」二六新聞評 12頁 夏目金之助 大倉書店・服  
部書店発行所 '07 (明治40) 年5月19日

↓『名著複刻全集近代文学館 吾輩ハ猫デアル下編』収録

批評一班 「吾輩は猫である」二六新聞評 12頁 大

倉書店版服部書店版 編集名著複刻全集近代文学館編集委  
員会代表者稲垣達郎 刊行日本近代文学館代表伊藤整 発  
売元図書月販 '68 (昭和43) 年9月10日

↓『新選名著複刻全集近代文学館 吾輩ハ猫デアル下編』  
収録 批評一班 「吾輩は猫である」二六新聞評 12頁 12  
頁 編集名著複刻全集編集委員会代表者稲垣達郎 刊行日  
本近代文学館代表者小田切進 販売元図書月販 '70 (昭和

45) 年4月10日

↓『名著複刻漱石文学館 吾輩ハ猫デアル下編』収録 批  
評一班「吾輩は猫である」二六新聞評 12頁 編集名  
著複刻全集委員会代表者稲垣達郎 刊行日本近代文学館代  
表者小田切進 販売ほるぶ '75 (昭和50) 年11月15日

↓『復刻初版本夏目漱石文学選集 吾輩ハ猫デアル下編』  
収録 批評一班 「吾輩は猫である」二六新聞評 12頁 12  
頁日本リーダーズダイジェスト社 '79 (昭和54) 年7月15  
日

↓『漱石作品論集成別巻漱石関係記事及び文献』収録 二  
六鑑賞「我輩は猫である」項」19頁上段 堀部功夫・村  
田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年12月10日

↓『復刻版二六新報第29巻原紙名』『東京二六新聞』明  
治38年10月〜12月第513号〜第594号』収録 二六鑑賞▲我  
輩は猫である (夏目漱石著) 85頁 不二出版 '94 (平

編収録 314頁 第九回配本 '91(平成3)年8月10日

瀬沼茂樹『夏目漱石 近代日本の思想家6』第六章第二の  
三部作一 『彼岸過迄』 213～228頁 東京大学出版会 '62  
(昭和37)年3月20日

↓『夏目漱石』収録 第六章第二の三部作一 『彼岸過迄』  
213～228頁 UP選書51 東京大学出版会 '70(昭和45)年  
7月25日

↓『漱石作品論集成第八卷彼岸過迄』収録 『彼岸過迄』  
40～48頁 玉井敬之・坪内稔典編 桜楓社 '91(平成3)  
年8月10日

↓『近代日本の思想家5夏目漱石 新装版』収録 第六章  
第二の三部作一 『彼岸過迄』 213～228頁 東京大学出版会  
'07(平成19)年9月21日

酒井英行 『彼岸過迄』の構成「国文学研究」第75集 94～  
103頁 早稲田大学国文学会 '81(昭和56)年10月5日

↓『国文学年次別論文集近代2昭和56(1981)年』収録 『彼  
岸過迄』の構成 180～185頁 学術文献刊行会編 朋文出版  
'83(昭和58)年5月

↓『漱石 その陰翳』収録 第四章後期三部作の世界―心  
の陰翳― I 『彼岸過迄』の構成 199～216頁 有精堂出版  
'90(平成2)年4月4日

↓『漱石作品論集成第八卷彼岸過迄』収録 『彼岸過迄』  
の構成 199～208頁 玉井敬之・坪内稔典編 桜楓社 '91(平

成3)年8月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第四章後期三部作の世界―心  
の陰翳― I 『彼岸過迄』の構成 199～216頁 沖積舎 '07  
(平成19)年9月10日

山田有策 漱石を読む「彼岸過迄」敬太郎をめぐって「別  
冊国文学第14号 夏目漱石必携Ⅱ」 131～138頁 竹盛天雄  
編 学燈社 '82(昭和57)年5月10日

↓「別冊国文学改装版 夏目漱石必携Ⅱ」収録 漱石を読  
む「彼岸過迄」敬太郎をめぐって 131～138頁 竹盛天雄編  
学燈社 '85(昭和60)年12月20日

↓『漱石作品論集成第八卷彼岸過迄』収録 「彼岸過迄」  
敬太郎をめぐって 216～224頁 玉井敬之・坪内稔典編 桜  
楓社 '91(平成3)年8月10日

↓「別冊国文学特装版 夏目漱石必携Ⅱ」収録 漱石を読  
む「彼岸過迄」敬太郎をめぐって 131～138頁 竹盛天雄  
編 学燈社 '93(平成5)年6月1日

↓『制度の近代―藤村・鷗外・漱石』収録 I 敬太郎の  
冒険 177～190頁 おうふう '03(平成15)年5月10日

第九卷『行人』浅田 隆・戸田民子編 行人論21編収録 298  
頁 第三回配本 '91(平成3)年2月10日

瀬沼茂樹『夏目漱石 近代日本の思想家6』第六章第二の  
三部作二 『行人』 228～243頁 東京大学出版会 '62(昭和

188頁 UP選書 東京大学出版会 '70(昭和45)年7月25日

↓『漱石作品論集成第七卷門』収録 『門』 31～37頁 赤井恵子・浅野洋編 桜楓社 '91(平成3)年10月10日

↓『近代日本の思想家5夏目漱石 新装版』収録 第四章 第一の三部作三 『門』 176～188頁 東京大学出版会 '07(平成19)年9月21日

酒井英行 『門』の構造 「日本文学」 第29巻9号 特集・海外における日本文学研究の現状 69～80頁 日本文学協会 '80(昭和55)年9月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第三章前期三部作の世界―愛の陰翳― IV 『門』の構造 168～188頁 有精堂出版 '90(平成2)年4月4日

↓『漱石作品論集成第七卷門』収録 『門』の構造 155～166頁 赤井恵子・浅野洋編 桜楓社 '91(平成3)年10月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第三章前期三部作の世界―愛の陰翳― IV 『門』の構造 168～188頁 沖積舎 '07(平成19)年9月10日

前田 愛 『講座夏目漱石第四卷△漱石の時代と社会▽』漱石と山の手空間―『門』を中心に― 120～145頁 三好行雄・平岡敏夫・平川祐弘・江藤淳編 有斐閣 '82(昭和57)年

2月25日

↓『都市空間のなかの文学』収録 II 山の手ノ奥 339～362頁 筑摩書房 '82(昭和57)年12月10日

↓『鑑賞日本現代文学別巻現代文学入門』収録 山の手ノ奥 181～200頁 谷沢永一・吉田熙生編 角川書店 '85(昭和60)年5月10日

↓『現代のエスプリ別冊江戸とは何か 第5号 江戸東京学』収録 山の手ノ奥 143～167頁 小木新造編 至文堂 '86(昭和61)年2月10日

↓『前田愛著作集第五巻 都市空間のなかの文学』収録 都市空間のなかの文学I 山の手ノ奥 218～238頁 多木浩二・藤井淑禎編 筑摩書房 '89(平成1)年7月30日

↓『漱石作品論集成第七卷門』収録 山の手ノ奥 190～202頁 赤井恵子・浅野洋編 桜楓社 '91(平成3)年10月10日

↓『都市空間のなかの文学』収録 II 山の手ノ奥―『門』415～442頁 ちくま学芸文庫M―1―1 筑摩書房 '92(平成4)年8月6日

↓『リーディングズ都市と郊外―比較文化論への通路』収録 第VI章江戸・東京論の未来と△郊外▽ 都市空間のなかの文学 山の手ノ奥 1982 365～382頁 今橋映子編 NT T出版 '04(平成16)年12月20日

第八巻『彼岸過迄』玉井敬之・坪内稔典編 彼岸過迄論 24

『三四郎』から『それから』へ― 126～134頁 玉井敬之・

村田好哉編 桜楓社 '91 (平成3) 年1月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第三章前期三部作の世界―愛  
の陰翳― Ⅱ広田先生の夢―『三四郎』から『それから』

へ― 134～149頁 沖積舎 '07 (平成19) 年9月10日

中山和子 「三四郎」片付けられた結末 「別冊国文学第14号

夏目漱石必携Ⅱ」 122～130頁 竹盛天雄編 学燈社 '82 (昭

和57) 年5月10日

↓「別冊国文学改装版 夏目漱石必携Ⅱ」収録 「三四郎」

片付けられた結末 122～130頁 竹盛天雄編 学燈社 '85

(昭和60) 年12月20日

↓『漱石作品論集成第五卷三四郎』収録 「三四郎」―片

付けられた結末― 176～184頁 玉井敬之・村田好哉編 桜

楓社 '91 (平成3) 年1月10日

↓「別冊国文学特装版 夏目漱石必携Ⅱ」収録 「三四郎」

片付けられた結末 122～130頁 竹盛天雄編 学燈社 '93

(平成5) 年6月1日

↓『中山和子コレクションⅠ 漱石・女性・ジェンダー』

収録 『三四郎』―片付けられた結末― 46～61頁 翰林

書房 '03 (平成15) 年12月12日

第六卷『それから』太田 登・木股知史・萬田 務編 それ

から論22編収録 283頁 第十回配本 '91 (平成3) 年9月

10日

酒井英行 自然の昔―『それから』論―「国文学研究」第

82集 78～87頁 早稲田大学国文学会 '84 (昭和59) 年3

月15日

↓『国文学年次別論文集近代2昭和59 (1984) 年』収録 自

然の昔―『それから』論― 183～187頁 学術文庫刊行会編

朋文出版 '86 (昭和61) 年5月

↓『漱石 その陰翳』収録 第三章前期三部作の世界―愛

の陰翳― Ⅲ自然の昔―『それから』論― 150～167頁 有

精堂出版 '90 (平成2) 年4月4日

↓『漱石作品論集成第六卷それから』収録 自然の昔―『そ

れから』論― 162～171頁 太田登・木股知史・萬田務編

桜楓社 '91 (平成3) 年9月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第三章前期三部作の世界―愛

の陰翳― Ⅲ自然の昔―『それから』論― 150～167頁 沖

積舎 '07 (平成19) 年9月10日

第七卷『門』赤井恵子・浅野 洋編 門論24編収録 275頁

第十一回配本 '91 (平成3) 年10月10日

瀬沼茂樹 『夏目漱石 近代日本の思想家6』第四章第一の

三部作三『門』 176～188頁 東京大学出版会 '62 (昭和37)

年3月20日

↓『夏目漱石』収録 第四章第一の三部作三『門』 176～

頁 日本比較文学会 '77 (昭和52) 年12月25日

↓「漱石作品論集成第四巻漾虚集・夢十夜」収録 「倫敦塔」の背景 127～139頁 鳥井正晴・藤井淑禎編 桜楓社 '91(平成3) 年5月10日

↓「漱石と英文学―『漾虚集』の比較文学的研究―」収録 第一章「倫敦塔」 65～170頁 彩流社 '99(平成11) 年4月5日

↓「改訂増補版」漱石と英文学―『漾虚集』の比較文学的研究― 収録 第一章「倫敦塔」 65～170頁 彩流社 '03(平成15) 年8月15日

なお同書収録に際し、同稿は以下の二論文①「漱石・ロンドン塔・デイクスン」②「漱石とドラローシユ」とあわせて再構成されたものである。参考までに論文①②の書誌的事項を示す。

①漱石・ロンドン塔・デイクスン 「専修大学人文科学研究 究所月報」第61号 11～23頁 専修大学人文科学研究所 '78(昭和53) 年10月31日

↓「漱石と英国―留学体験と創作との間―」収録 第一章 漱石・ロンドン塔・デイクソン―蓄積されたイメージ 13～52頁 彩流社 '87(昭和62) 年9月15日

↓「増補版」漱石と英国―留学体験と創作との間― 収録 第一章漱石・ロンドン塔・デイクソン―蓄積されたイメージ 13～52頁 彩流社 '99(平成11) 年3月25日

②漱石とドラローシユ 「専修大学人文科学研究所月報」

第81号 1～20頁 専修大学人文科学研究所 '82(昭和57) 2月28日

↓「漱石と英国―留学体験と創作との間―」収録 第二章 漱石とドラローシユ―「ジェーン所刑の場」をめぐる 53～100頁 彩流社 '87(昭和62) 年9月15日

↓「増補版」漱石と英国―留学体験と創作との間― 収録 第二章漱石とドラローシユ―「ジェーン所刑の場」をめぐる 53～100頁 彩流社 '99(平成11) 年3月25日

第五巻『三四郎』玉井敬之・村田好哉編 三四郎論21編収録

265頁 第二回配本 '91(平成3) 年1月10日

酒井英行 広田先生の夢―『三四郎』から『それから』へ― 「文芸と批評」 第4巻第10号 通巻40号 近代小特集 11～19頁 文芸と批評の会 '78(昭和53) 年7月20日

↓『日本文学研究資料叢書夏目漱石Ⅱ』収録 広田先生の夢―『三四郎』から『それから』へ― 139～147頁 日本文学研究資料刊行会編 有精堂出版 '85(昭和60) 年7月10日

↓「漱石 その陰翳」収録 第三章前期三部作の世界―愛

の陰翳― Ⅱ広田先生の夢―『三四郎』から『それから』

へ― 134～149頁 有精堂出版 '90(平成2) 年4月4日  
↓「漱石作品論集成第五巻三四郎」収録 広田先生の夢―

成3) 年7月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第一章職業作家への道―現実否認の克服―Ⅱ『野分』論 29～50頁 沖積舎 '07(平成19)年9月10日

酒井英行 漱石『坑夫』論 「日本文学」 第32巻第10号 24

↓33頁 日本文学協会 '83(昭和58)年10月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第二章道義と自然―小説の模索―Ⅲ『坑夫』論 96～113頁 有精堂出版 '90(平成2)年4月4日

↓『漱石作品論集成第三巻虞美人草・野分・坑夫』収録

『坑夫』論 233～242頁 浅田隆・木股知史編 桜楓社 '91(平成3)年7月10日

↓『漱石 その陰翳』収録 第二章道義と自然―小説の模索―Ⅲ『坑夫』論 96～113頁 沖積舎 '07(平成19)年9月10日

第四巻『漾虚集・夢十夜』鳥井正晴・藤井淑禎編 漾虚集論

12編 夢十夜論10編 合計22編収録 320頁 第六回配本

'91(平成3)年5月10日

ジャン・ジャック・オリガス 「蜘蛛手」の街―漱石初期の

作品の一断面 「季刊芸術」 第7巻第1号 通巻第24号

30～38頁 季刊芸術出版発行 講談社発売 '73(昭和48)年1月1日

↓『日本文化研究国際会議事録Ⅰ』収録 都会の迷路と

小説の構造―漱石の初期の作品と中期の小説の一断面 90～96頁 日本文化研究国際会議事録編集委員会編 社団法人日本ペンクラブ発行 '73(昭和48)年11月18日

↓『夏目漱石全集別巻漱石文学案内』収録 「蜘蛛手」の街―漱石初期の作品の一断面 306～319頁 江藤淳・吉田精一編 角川書店 '75(昭和50)年2月5日

↓『文芸読本夏目漱石Ⅱ』収録 「蜘蛛手」の街―漱石初期作品の一断面 67～75頁 河出書房新社 '77(昭和52)年1月31日

↓『日本文学研究資料叢書夏目漱石Ⅱ』収録 「蜘蛛手」の街―漱石初期の作品の一断面― 37～45頁 日本文学研究資料刊行会編 有精堂出版 '82(昭和57)年9月20日

↓『文芸読本夏目漱石Ⅱ 新装版』収録 「蜘蛛手」の街―漱石初期作品の一断面 67～75頁 河出書房新社 '84(昭和59)年3月10日

↓『漱石作品論集成第四巻漾虚集・夢十夜』収録 「蜘蛛手」

の街―漱石初期の作品の一断面 73～81頁 鳥井正晴・藤井淑禎編 桜楓社 '91(平成3)年5月10日

↓『物と眼―明治文学論集』収録 「蜘蛛手」の街―漱石初期作品の一断面― 45～65頁 岩波書店 '03(平成15)年9月25日

塚本利明 「倫敦塔」の背景 「比較文学」 第20巻 14～27

は猫である」の笑いの分析 188～204頁 浅野洋・太田登編  
桜楓社 '91(平成3)年3月10日

↓『小説世界のロビンソン』収録 第一部 第四章「吾輩は猫である」と落語の世界 54～63頁／第五章「吾輩は猫である」と自由な小説 64～74頁／第六章「吾輩は猫である」と乾いたユーモア 75～84頁／第七章「吾輩は猫である」とフラット・キャラクター 85～94頁 新潮文庫こー10―22 新潮社 '92(平成4)年8月25日

↓『名人志ん生、そして志ん朝』収録 第四章落語・言葉・漱石 夏目漱石と落語 152～181頁『吾輩は猫である』と落語の世界 152～161頁／『吾輩は猫である』と自由な小説 162～171頁／『吾輩は猫である』と乾いたユーモア 172～181頁』なお同書には「吾輩は猫である」とフラット・キャラクターは未収録 朝日選書720 朝日新聞社 '03(平成15)年1月25日

**第二卷『坊つちちゃん・草枕』片岡 豊・小森陽一編 坊つち**  
やん論14編 草枕論9編 合計23編収録 304頁 第一回配本 '90(平成2)年12月1日

**戸松 泉** 「坊つちちゃん」論―八大尾Vへの疑問―「東京女子大学日本文学」第70号 15～36頁 東京女子大学学会 日本文学部会 '88(昭和63)年9月30日

↓『漱石作品論集成第二卷坊つちちゃん・草枕』収録「坊

つちちゃん」論―八大尾Vへの疑問― 162～180頁 片岡豊・小森陽一編 桜楓社 '90(平成2)年12月1日

↓『小説の八かたちV・八物語Vの揺らぎ―日本近代小説「構造分析」の試み』収録 II「私」の語る世界―一人称△回想V形式の小説「坊つちちゃん」論―「大尾」への疑問― 151～180頁 翰林書房 '02(平成14)年2月22日

**第三卷『虞美人草・野分・坑夫』浅田 隆・木股知史編 虞美人草論11編 野分論6編 坑夫論6編 合計23編収録 284頁 第八回配本 '91(平成3)年7月10日**

**酒井英行** 『野分』論「文芸と批評」第5巻第10号 通巻50号 9～20頁 文芸と批評の会 '84(昭和)59年7月16日  
↓『国文学年次別論文集近代2昭和59(1984)年』収録『野分』論 87～93頁 学術文献刊行会編 朋文出版 '86(昭和61)年5月

↓『日本文学研究大成夏目漱石I』収録『野分』論 91～103頁 日本文学研究大成刊行会監修 平岡敏夫編 国書刊行会 '89(平成1)年10月15日

↓『漱石 その陰翳』収録 第一章職業作家への道―現実否認の克服― II野分論 29～50頁 有精堂出版 '90(平成2)年4月4日

↓『漱石作品論集成第三卷虞美人草・野分・坑夫』収録『野分』論 175～186頁 浅田隆・木股知史編 桜楓社 '91(平

葉、猫の論理 94～105頁 浅野洋・太田登編 桜楓社 '91  
(平成3)年3月10日

↓『作品論夏目漱石 第二版』収録 猫の言葉、猫の論理  
9～29頁 内田道雄・久保田芳太郎編 双文社出版 '00(平  
成12)年11月15日

↓『近代日本の文学空間 歴史・ことば・状況』収録 II  
猫の言葉、猫の論理 290～316頁 平凡社ライブラリー 499

平凡社 '04(平成16)年5月7日

高橋英夫 『講座夏目漱石第二巻(漱石の作品上)』表現言

語の成立―『吾輩は猫である』― 62～90頁 三好行雄・  
平岡敏夫・平川祐弘・江藤淳編 有斐閣 '81(昭和56)年  
8月25日

↓『夢幻系列 漱石・龍之介・百閒』収録 表現言語の成  
立―『吾輩は猫である』 39～71頁 小沢書店 '89(平成1)  
年2月20日

↓『漱石作品論集成第一巻吾輩は猫である』収録 表現言  
語の成立―『吾輩は猫である』― 149～163頁 浅野洋・太  
田登編 桜楓社 '91(平成3)年3月10日

↓『洋燈の孤影 漱石を読む』収録 表現言語の成立―『吾  
輩は猫である』 88～119頁 幻戯書房 '06(平成18)年7  
月20日

小林信彦 小説世界のロビンソン⑤ 第四章「吾輩は猫であ  
る」と落語の世界「波」第18巻第5号5月号 通巻第173号

32～36頁 新潮社 '84(昭和59)年5月1日

小説世界のロビンソン⑥ 第五章「吾輩は猫である」と自  
由な小説「波」第18巻第6号6月号 通巻第174号 36～  
40頁 新潮社 '84(昭和59)年6月1日

小説世界のロビンソン⑦ 第六章「吾輩は猫である」と乾  
いたユーモア「波」第18巻第7号7月号 通巻第175号

新潮社 '84(昭和59)年7月1日

小説世界のロビンソン⑧ 第七章「吾輩は猫である」とフ  
ラット・キャラクター「波」第18巻第8号8月号 通巻  
第176号 30～34頁 新潮社 '84(昭和59)年8月1日

↓『小説世界のロビンソン』収録 第一部 第四章「吾輩  
は猫である」と落語の世界 42～49頁／第五章「吾輩は  
猫である」と自由な小説 50～58頁／第六章「吾輩は猫  
である」と乾いたユーモア 59～66頁／第七章「吾輩は  
猫である」とフラット・キャラクター 67～74頁 新潮社

'89(平成1)年3月20日

↓『新文芸読本夏目漱石』収録 2 「吾輩は猫である」と  
落語の関係「吾輩は猫である」と落語の世界 35～42頁

なお同書には「吾輩は猫である」と自由な小説、「吾輩は  
猫である」と乾いたユーモア、「吾輩は猫である」とフラ  
ット・キャラクターは未収録 編集協力石原千秋・余吾育  
信・田辺園子 河出書房新社 '90(平成2)年6月25日

↓『漱石作品論集成第二巻吾輩は猫である』収録 「吾輩



# 『漱石作品論集成』書誌（八）

村田好哉

## まえがき

本稿は一九九〇（平成二）年十二月から一九九二（平成三）年十二月にかけて桜楓社（現社名 おうふう）より刊行された『漱石作品論集成』（玉井敬之監修 全十二巻、別巻一）収録文献書誌の補遺編である。『漱石作品論集成』は主に一九三五年以降の漱石研究の成果を主要作品別に配列したものであり、漱石研究の達成を示す基本文献の一つとして現在では学界での評価も定着していると言えよう。同集成には別巻を含めると三四一編もの論文及び漱石関係記事（他に企画・編集委員による鼎談十二・解説二）が収録されている。このため全巻完結当初より収録論文の文献書誌が求められていた。これらの要望にこたえ、研究のさらなる進展のために収録論文の書誌をかつて作成したのであるが、同集成の刊行以降、雑誌初出論文の多くが単行本に再録されるなどにより文献の書誌事項に変更が生じている。このため本稿においては

前稿に引き続き、第一巻『吾輩は猫である』から別巻『漱石関係記事及び文献』に収録された文献及び記事に係わる書誌事項の補遺の作成を試みたものである。

第一巻『吾輩は猫である』浅野 洋・太田 登編 20編収録

第四回配本 '91（平成3）年3月10日

前田 愛 『作品論夏目漱石』猫の言葉、猫の論理 9～29

頁 内田道雄・久保田芳太郎編 双文社出版 '76（昭和

51）年9月30日

↓『近代日本の文学空間―歴史・ことば・状況―』収録

猫の言葉、猫の論理 337～358頁 新曜社 '83（昭和58）年

6月10日

↓『前田愛著作集第六巻テクストのユートピア』収録 IV

猫の言葉、猫の論理 330～348頁 編集多木浩二・小森陽一

筑摩書房 '90（平成2）年4月25日

↓『漱石作品論集成第一巻吾輩は猫である』収録 猫の言